

平成 29 年 度
補 正 予 算 説 明 書

平成 29 年 12 月 定 例 会

目 次

一 般 会 計	1
---------------	---

企 業 会 計

水道事業会計	11
--------------	----

一 般 会 計

1 総括
(歳入)

一般会計
3

(歳 出)

[illegible]

[illegible]

2 歳 入

1 9 款 繰越金

16,301千円

1 項 繰越金

16,301千円

目	補正前の額	補 正 額	計
1 繰越金	千円 1,439,037	千円 16,301	千円 1,455,338
計	1,439,037	16,301	1,455,338

節		説	明
区 分	金 額		
1 前年度繰越金	千円 16,301	○財務部財政課 ・前年度繰越金	千円 16,301

3 歳 出

3 款 民生費

16,301千円

3 項 児童福祉費

16,301千円

目	補正前の額	補正額	計	補 正 額 の 財 源 内 訳			
				特 定 財 源			一般財源
				国県支出金	地方債	その他	
2 児童措置費	千円 11,360,056	千円 16,301	千円 11,376,357	千円	千円	千円	千円 16,301
計	23,392,704	16,301	23,409,005	0	0	0	16,301

節		説 明	
区 分	金 額		
19 負担金補助及 び交付金	千円 16,301	○こども部保育課 1 私立保育園運営支援事業 ・ 私立保育園運営支援業務 私立保育園運営費補助金	千円 16,301 16,301 16,301

水 道 事 業 会 計

平成29年度岡崎市水道事業会計補正予算実施計画

収益的収入及び支出

支 出

款	項	目	補 正 予 定 額	備 考
1 水 道 事 業 費 用			千円 △6,189	
	2 営業外費用		△6,189	
		1 支 払 利 息 及 び 企 業 債 取 扱 諸 費	△6,189	

資本的収入及び支出
収 入

款	項	目	補 正 予 定 額	備 考
			千円	
(過年度分損益勘定留保資金)			355	
計			355	

支出

款	項	目	補 正 予 定 額	備 考
1 資本的支出			千円 355	
	2 企業債還金		355	
		1 企業債還金	355	

平成29年度岡崎市水道事業会計
 予定キャッシュ・フロー計算書

(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

(単位 千円)

1 業務活動によるキャッシュ・フロー

当年度純利益	279,706
減価償却費	2,190,812
固定資産除却費	1,183,747
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	50,459
賞与等引当金の増減額 (△は減少)	2,172
長期前受金戻入額	△ 715,460
資本費繰入収益	△ 4,204
受取利息及び受取配当金	△ 13,934
支払利息	274,687
有形固定資産売却損益 (△は益)	△ 1
未収金の増減額 (△は増加)	△ 57,486
未払金の増減額 (△は減少)	△ 229,208
その他流動負債の増減額 (△は減少)	△ 7,620
たな卸資産の増減額 (△は増加)	4
小計	2,953,674
利息及び配当金の受取額	13,934
利息の支払額	△ 274,687
業務活動によるキャッシュ・フロー	2,692,921

2 投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得による支出	△ 7,496,542
有形固定資産の売却による収入	2
工事負担金による収入	373,682
分担金による収入	214,644
他会計負担金による収入	29,094
県補助金による収入	51,100
県補助金の返還による支出	△ 5,785
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 6,833,805

3 財務活動によるキャッシュ・フロー

建設改良費等の財源に充てるための企業債による収入	1,037,500
建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還による支出	△ 870,872
一般会計からの出資による収入	219,273
財務活動によるキャッシュ・フロー	<u>385,901</u>

資金増加額（又は減少額）△ 3,754,983

資金期首残高15,547,669

資金期末残高11,792,686

平成29年度岡崎市水道事業予定貸借対照表

(平成30年3月31日)

(単位 千円)

資 産 の 部

1 固 定 資 産

(1) 有形固定資産

イ 土 地		3,230,135	
ロ 建 物	2,783,908		
減価償却累計額	<u>△ 682,707</u>	2,101,201	
ハ 構 築 物	86,630,314		
減価償却累計額	<u>△ 32,796,165</u>	53,834,149	
ニ 機 械 及 び 装 置	15,151,450		
減価償却累計額	<u>△ 5,304,976</u>	9,846,474	
ホ 車 両 運 搬 具	79,256		
減価償却累計額	<u>△ 65,665</u>	13,591	
ヘ 工 具 器 具 及 び 備 品	109,430		
減価償却累計額	<u>△ 92,438</u>	16,992	
ト リ ー ス 資 産	18,356		
減価償却累計額	<u>△ 16,522</u>	1,834	
チ 建 設 仮 勘 定		<u>354,850</u>	
有形固定資産合計		<u>69,399,226</u>	
固 定 資 産 合 計			69,399,226

2 流 動 資 産

(1) 現 金 預 金		11,792,686	
(2) 未 収 金	1,156,504		
貸倒引当金	<u>△ 11,184</u>	1,145,320	
(3) 貯 蔵 品		27,558	
(4) その他流動資産		<u>179,500</u>	
流 動 資 産 合 計			<u>13,145,064</u>
資 産 合 計			<u>82,544,290</u>

負債の部

3 固定負債

(1) 企業債

イ 建設改良費等の財源に
充てるための企業債 14,922,349

企業債合計 14,922,349

(2) 引当金

イ 退職給付引当金 1,022,712

ロ 修繕引当金 1,685,000

引当金合計 2,707,712

固定負債合計 17,630,061

4 流動負債

(1) 企業債

イ 建設改良費等の財源に
充てるための企業債 920,987

企業債合計 920,987

(2) 未払金 2,169,489

(3) 前受金 2,294

(4) 引当金

イ 賞与等引当金 64,061

引当金合計 64,061

(5) その他流動負債 333,517

流動負債合計 3,490,348

5 繰延収益

長期前受金 30,732,440

収益化累計額 △ 11,032,645

繰延収益合計 19,699,795

負債合計 40,820,204

資 本 の 部

6	資 本 金		36,802,100
7	剰 余 金		
(1)	資 本 剰 余 金		
	イ 受贈財産評価額	152,021	
	ロ 建 設 補 助 金	4,536	
	ハ 他 会 計 負 担 金	16,718	
	ニ 工 事 負 担 金	204,934	
	ホ 寄 附 金	297	
	ヘ その他資本剰余金	<u>566</u>	
	資本剰余金合計		379,072
(2)	利 益 剰 余 金		
	イ 減 債 積 立 金	142,945	
	ロ 建設改良積立金	2,800,000	
	ハ 当年度未処分利益剰余金	<u>1,599,969</u>	
	利益剰余金合計		<u>4,542,914</u>
	剰 余 金 合 計		<u>4,921,986</u>
	資 本 合 計		<u>41,724,086</u>
	負 債 資 本 合 計		<u>82,544,290</u>

注記

第1 重要な会計方針に係る事項に関する注記

1 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産（リース資産を除く。）

ア 減価償却の方法

建物・構築物	定額法
その他	定率法

イ 主な耐用年数

建物	15～50年
構築物	40年
機械及び装置	15年
車両運搬具	5年
工具器具及び備品	3～15年

(2) リース資産

所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産は、自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法を採用する。

2 引当金の計上方法

(1) 退職給付引当金

職員の退職手当の支給に備えるため、当事業年度末における退職手当の要支給額に相当する金額を計上する。

(2) 賞与等引当金

職員の期末手当・勤勉手当の支給及び当該支給に係る法定福利費の支出に備えるため、当事業年度末における支給見込額に基づき、当事業年度の負担に属する額を計上する。

(3) 貸倒引当金

債権の不納欠損による損失に備えるため、実績率等による回収不能見込額を計上する。

(4) 修繕引当金

平成26年3月31日以前に引き当てられたものについて計上する。取崩しについては、引き続き従前の例による。

3 消費税及び地方消費税の会計処理

税抜方式による。

第2 予定貸借対照表等に関する注記

1 企業債の償還に係る他会計の負担

予定貸借対照表に計上されている企業債（1年以内に償還予定のものも含む。）のうち、他会計が負担すると見込まれる額は、79,249千円である。

2 引当金の取崩し

(1) 退職給付引当金

退職給付引当金の目的使用による取崩しについては、当事業年度において退職手当として157,986千円を支給するため、退職給付引当金157,986千円を使用する。

(2) 賞与等引当金

賞与等引当金の目的使用による取崩しについては、当事業年度において期末手当・勤勉手当及びその支給に係る法定福利費として61,751千円を支出するため、賞与等引当金61,751千円を使用する。

(3) 貸倒引当金

貸倒引当金の目的使用による取崩しについては、当事業年度において債権の不納欠損による損失金額2,305千円を補填するため、貸倒引当金2,305千円を使用する。

第3 セグメント情報に関する注記

水道事業単一のセグメントのため記載を省略する。

第4 リース契約により使用する固定資産に関する注記

1 重要なリース取引の処理方法

所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理による。

2 所有権移転外ファイナンス・リース取引に係る未経過リース料相当額

1年内 41,531千円

1年超 37,650千円

計 79,181千円

平成29年度岡崎市水道事業会計補正予算事項別明細書

収益的収入及び支出

支 出

款	項	目	節	補正前の予定額
1 水道事業用 費				千円 7,162,318
	2 営業外費用			280,880
		1 支払利息 及び企業債 取扱諸費		280,876
			49 企業債利息	280,774

補 正 予 定 額	計	説 明
千円 △6,189	千円 7,156,129	千円
△6,189	274,691	
△6,189	274,687	
△6,189	274,585	企業債利息 減

資本的収入及び支出
収入

款	項	目	節	補正前の予定額 千円
(過年度分損益勘定留保資金)				3,401,633
計				7,094,590

支出

款	項	目	節	補正前の予定額
1 資 本 的 支 出				千円 7,094,590
	2 企 業 債 還 金			870,517
		1 企 業 債 還 金		870,517
			1 企 業 債 還 金	870,517

補 正 予 定 額	計	説 明
千円	千円	千円
355	3,401,988	
355	7,094,945	

補 正 予 定 額	計	説 明
千円 355	千円 7,094,945	千円
355	870,872	
355	870,872	
355	870,872	未償還元金15,676,708千円のうち本年度償還元金